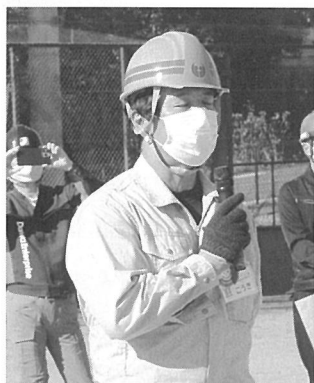


尾張北支部

豊明市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練を実施

令和4年11月19日（土）午前9時から豊明市勅使グラウンド（豊明市沓掛町勅使）において、豊明市と当協会の災害廃棄物処理対策に関する特別委員会（以下「特別委員会」という。）と尾張北支部会員企業（大和エンタープライズ（株）、（株）リョクリン、（株）中西、トヨタケユニティ（株））が中心になって、昨年度に引き続き第2回目の豊明市災害廃棄物仮置場設置・運営訓練が実施されました。



小浮正典市長



山本浩也委員長

今年度の訓練は、仮置場の「設置」よりも「運営」に力点を置いたもので、前日の11月18日（金）に事前準備として豊明市と尾張北支部の会員企業で仮置場を設置し、19日（土）の訓練に備えました。

今年度の訓練のテーマである「市民への災害ごみの分別の方法の周知」に基づき、訓練には豊明市の各区長27名と自主防災組織連合会理事27名の方々に観覧していただきました。



事前説明

協会からは、特別委員会委員長の山本浩也氏を始め30名が参加して行われました。

事前説明では、仮置場で受け入れ可能な災害ごみ17品目の分別と単品持ち込みのお願い、仮置場の案内図、仮置場の分別配置図と搬入・搬出動線、搬入についての注意事項等が記載された災害発生時に市民に配布するチラシに基づいて説明がありました。



仮置場搬入受付

搬入受付の際には市外からの災害ごみや便乗ごみの持ち込みが無いように、豊明市在住が確認できる免許証等の提示、また、搬入されるごみが受け入れ可能なごみであるかの確認、単品持ち込みか、混載持ち込みかの確認を行い、単品持ち込み車両はファストレーンへ案内するなど、災害時に備えた説明があり、区長の方々は熱心に耳を傾けておられました。



仮置場搬入受付

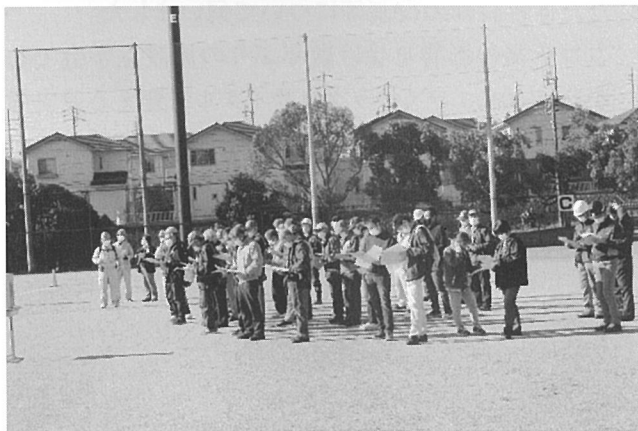
ファストレーン方式は、仮置場の分別区分に従っ

た災害廃棄物の積み下ろしで渋滞を緩和するために
熊本県人吉市で効果のあった「分別搬入（単品積み
込み車両）を優先して受入する方式」でその必要性
について詳しい説明がされ、単品搬入ができるよう
にご近所、町内等での協力が不可欠であると説明が
ありました。



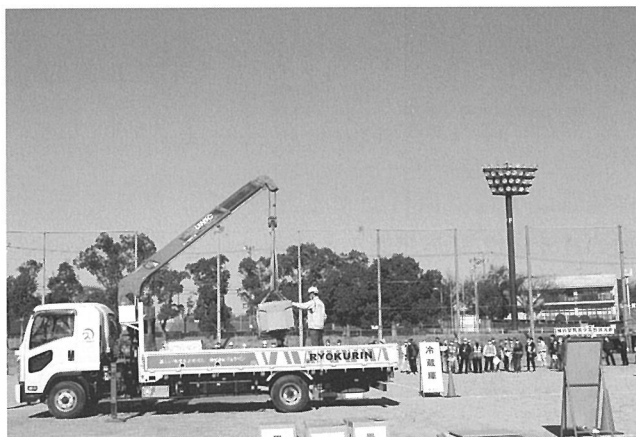
災害廃棄物の搬入・積み下ろし訓練

災害廃棄物の搬入・積み下ろし訓練では、単品持
ち込み車両と冷蔵庫や洗濯機、マットレスなどを混
載した車両の積み下ろし時間の違いについて説明が
ありました。



積み下ろし訓練を視察する区長等

搬出訓練では、トラッククレーンによる冷蔵庫の
積み込みを見学しました。



災害廃棄物の搬出訓練

今回の訓練は今年の2月に続き第2回目となり、
第1回目は豊明市の職員の方と協会員だけで実施し
ましたが、今回は市民の方に多数ご参加をいただき、
いかに分別が重要で、分別して持ち込むだけでなく、
単品で一車両、一品目を持ち込むことの大切さを学
んでいただくことができました。



訓練に参加した尾張北支部会員等

訓練終了後には、参加された市民の皆様から多く
の質問をいただき、その関心の高さがうかがわれま
した。こうしたことが市民の方に定着していくのは
平時からの取組が大切であり、収穫の多い、非常に
有意義な訓練でした。これからも、他の市町村とも
訓練の実施ができるよう働きかけて行きたい。